

～留学帰国生が選んだ、2017年海外で流行したと思う物や著名人を発表～ イスラエルで「君の名は。」が歌われ、 スウェーデンやカンボジアでも「PPAP」のモノマネが流行！？

文部科学省が官民協働で取り組んでいる留学促進キャンペーン「トビタテ！留学JAPAN」は、2017年11月に、インターネットにて「留学帰国生から見た2017年に関する調査（大学在学中に1か月以上留学経験がある大学2～4年生309名より有効回答）」を実施しました。「2017年海外で流行したと思う日本の物やカルチャー」、「2017年海外で最も活躍したと思う日本の著名人」、「2017年に海外で起こった政治・経済における重大ニュースで特に注目したもの」のランキングと、留学先でのエピソードを発表します。

2017年海外で流行したと思う日本の物やカルチャー1位「アニメ、君の名は。」

留学帰国生に、「2017年に海外で流行したと思う物やカルチャー」について調査したところ、1位は「アニメ、君の名は。」（34.3%）、2位「ピコ太郎、PPAP」（10.7%）、という結果が出ました。2017年に、「トビタテ！留学JAPAN」で留学した学生に、留学先で実際にどのように流行していたかも調査したところ、様々な国で「君の名は。」や「ピコ太郎」が流行っていたことが分かりました。

【2017年に留学した学生の留学先でのエピソード】

■「アニメ、君の名は。」

- （イスラエル）日本の漫画・アニメが好きな人が開催している数千人規模のイベントがあり、そこで行われたカラオケ大会で「君の名は。」を披露している人がいた。

- （韓国）自分が日本人であることを伝えると、一番最初に言われるのが「君の名は。観た？」だった。

- （オーストラリア）中国系の人達の間で流行っていて、中国系の友人3人と一緒に鑑賞会をした。

■「ピコ太郎、PPAP」

- （スウェーデン）ピコ太郎の存在をスウェーデン人から教えてもらったほど流行が早かった。街中でスキップしながら「I have a pen, I have a～～」と歌いながら歩く小学生くらいの女の子を見かけたり、私が「Do you have a pen?」とペンを借りようとすると友達がピコ太郎の歌を歌いながらペンを渡してきました。

- （カンボジア）ピコ太郎の真似は、カンボジア人同士がふざけあう時に使っていた。また、カンボジア人がよく行くバーでも必ず流れていた。

「2017年に海外で流行したと思う物やカルチャー」

1位	アニメ、アニメ映画、君の名は。	34.3%
2位	ピコ太郎、PPAP(ベンパイナッポーアッポーベン)	10.7%
3位	和食、日本食、寿司、ラーメン	6.1%
4位	日本酒、酒	5.2%
5位	Pokemon GO(ポケモン ゴー)、ポケモン	4.2%
6位	Nintendo Switch(ニンテンドースイッチ)	1.9%
7位	漫画	1.6%
8位	逃げるは恥だが役に立つ・恋ダンス・星野源「恋」	1.0%
9位	インスタ映え	0.6%
9位	ブルゾンちえみ	0.6%

n = 大学在学中に1か月以上留学経験がある大学2～4年生309名
※9位は複数あるため一部抜粋

2017年海外で最も活躍したと思う日本の著名人1位羽生結弦選手（フィギュアスケート）

「2017年に海外で最も活躍したと思う日本の著名人」について調査したところ、1位は「羽生結弦選手（フィギュアスケート）」（54.7%）、2位「錦織圭（プロテニス選手）」（51.8%）でした。

【2017年に留学した学生の留学先でのエピソード】

- （ボスニア・ヘルツェゴビナ）クラスメイトに、「日本といえば何？」と投げかけたところ、1番に「錦織圭！」と声があがった。

- （ロシア）錦織選手のことがよく話題になり、頭脳を使った粘り強いプレースタイルは日本のテニスだとロシア人が絶賛していて、みんなでエアケイの真似をした。

- （ロシア）羽生選手ファンクラブがあり、モスクワ大会では地元ロシア人選手より大きな歓声を常に受けていた。羽生選手をきっかけに日本語を勉強している人もいた。

「2017年海外で最も活躍したと思う日本の著名人」

1位	羽生結弦（フィギュアスケート選手）	54.7%
2位	錦織圭（プロテニス選手）	51.8%
3位	新海誠（映画監督）	25.6%
4位	安倍晋三（首相）	22.3%
5位	イチロー（メジャーリーガー）	17.5%
6位	田中将大（メジャーリーガー）	14.2%
7位	松山英樹（プロゴルファー）	13.3%
8位	白井健三（体操競技選手）	12.9%
9位	平野美宇（卓球選手）	11.3%
10位	本田真凜（フィギュアスケート選手）	10.0%

n = 大学在学中に1か月以上留学経験がある大学2～4年生309名

2017年に海外で起きた政治・経済における重大ニュースで特に注目したもの 1位は、「アメリカでトランプ大統領が就任」

留学帰国生に、「2017年に海外で起きた政治・経済における重大ニュースで特に注目したもの」について調査したところ、1位は「アメリカでトランプ大統領が就任」(82.2%)、2位「北朝鮮による相次ぐミサイル発射」(57.9%)という結果が出ました。2017年に、「トビタテ！留学JAPAN」で留学した学生に、留学先で話題になっていたかも調査したところ、様々な国で議論されていたことが分かりました。

「2017年に海外で起きた政治・経済における重大ニュースで特に注目したもの」

1位	アメリカでトランプ大統領が就任 (1月にアメリカ大統領に就任後、TPP離脱、イスラム教徒が多い7カ国出身者の入国禁止措置などを実施)	82.2%
2位	北朝鮮による相次ぐミサイル発射 (北朝鮮による相次ぐミサイル発射で、主要国は経済制裁を強化)	57.9%
3位	イギリスがEU離脱を正式通知 (イギリスのメイ首相は3月に、EUに対して離脱を正式に通知した)	41.4%
4位	欧州で相次ぐテロ (人気歌手アリアナ・グランデのイギリスのコンサート会場で自爆テロ、ロンドン橋やバルセロナでワゴン車が暴走して歩行者を次々とねたテロなど)	39.5%
5位	韓国パク・クネ大統領罷免 (韓国で収賄容疑など一連の疑惑からパク・クネ大統領が罷免され、文在寅が新大統領に就任)	19.7%
6位	金正男暗殺事件 (マレーシア・カラランプール国際空港で、北朝鮮最高指導者の兄である金正男氏が暗殺)	19.4%
7位	アメリカの歴史上、最悪の銃乱射事件 (ラスベガスのカントリーウエスタンライブ中に、死者59人、負傷者500人を超える史上最悪の銃乱射事件が起こった)	14.9%
8位	ロヒンギャ問題 (ミャンマーのイスラム系少数民族ロヒンギャが迫害を受けているとされる問題)	10.7%
9位	フランス新大統領にマクロン氏就任 (フランスのEU離脱を訴えた極右政党のマリーヌ・ルペン氏を退け、マクロン氏は新大統領に就任)	7.1%
10位	白人至上主義者と反対派が衝突 (アメリカバージニア州で、白人至上主義団体と反対する抗議者との間で激しい暴動が起き1人が死亡)	6.8%

n = 大学在学中に1か月以上留学経験がある大学2~4年生309名

【2017年に留学した学生の留学先でのエピソード】

■「アメリカでトランプ大統領が就任」

- ・(スウェーデン) アメリカの大統領選挙当日、友人の家に集まり夜通し選挙の中継を見ていた人たちがいた。翌日は、熱く議論を交わしている人が多く、アメリカ人留学生は、質問攻撃で疲れていた。

■「北朝鮮による相次ぐミサイル発射」

- ・(イスラエル) イスラエルは、ミサイル迎撃システムが優れていたり、シェルターがどの建物にも設置されていたりと、ミサイル対策はほぼ万全。北朝鮮による相次ぐミサイル発射のニュースを聞いた友達からは、「今は日本よりイスラエルのほうが安全だね」と冗談混じりで言っていた。

- ・(韓国) ニュースで報道はされるが「またか」程度の反応であまり気にしている人がいない印象をもつた。

■「トビタテ！留学JAPAN」とは

文部科学省初の官民協働留学促進キャンペーン。2020年までに、海外留学する学生を倍増する目標を掲げスタート。主な取り組みである「日本代表プログラム」は、100%民間の寄附を財源とし、民間企業約200社から116億円以上の寄付が集まり、返済不要の奨学金でサポートする留学支援制度です。留学期間を28日以上2年以内で自由に設定でき、渡航先100か国以上、多様な6コースを用意。座学だけではない多様な留学を通じて、産業界を中心に社会で求められる人材、世界で活躍できる人材の育成を目指し、既に4000名以上を選抜し約100か国に留学しています。

以上

■「留学帰国生から見た2017年にに関する調査」概要

対象 : 大学在学中に1か月以上留学経験がある大学2~4年生309名より有効回答
※調査結果の数字は四捨五入のため合計値が必ずしも一致しない場合があります。

調査方法 : インターネット調査

調査期間 : 2017年11月2日(木) ~11月7日(火)

※このほか、「トビタテ！留学JAPAN」で2017年に留学した学生に具体的な留学先でのエピソードを調査

〈本件に関する報道関係者お問合せ先〉

文部科学省 官民協働海外留学創出プロジェクトチーム「トビタテ！留学 JAPAN」PR担当 : 西川
TEL 03-6734-4923 / FAX 03-6734-4936 / MAIL t-nishikawa@mext.go.jp